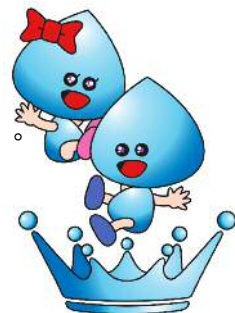


## 水の大切さを知って・学ぼう 水道週間イベント

### ■水道週間中、市内でさまざまなイベントを開催

6月1日から6月7日まで、さまざまなイベントが開催された「第57回水道週間」。期間中には、多くの人々がイベントに参加し、普段何気なく使っている水道について理解を深めたり、水の大切さを再確認しました。



### ◆「生徒による記念植樹」◆

水道についての関心と理解を深めてもらうとともに、登米市の豊かな水資源を、次世代に引き継ぐため、登米中学校2年生による植樹作業が6月2日（火）、登米町日根牛字上羽沢地内で実施されました。

当日は晴天の下、登米森林組合員から植樹作業の注意点などの説明を受けた後、みんなで心を込めてミズナラやブナなど広葉樹200本を植樹しました。

参加した子供たちは「大きくなるのが楽しみ」などと感想を述べていました。



「植林は水を守ることに繋がります」と水道事業所長があいさつ



急な斜面にも負けず、みんなで協力し合い広葉樹の苗200本を植樹しました。



苗が倒れないよう、しっかりと穴を掘り丁寧に植樹しました。



植樹終了後、標柱を囲んで記念写真（2年生生徒のみなさん）

## ◆「園児によるヤマメの稚魚放流」◆

川に親しみを持つとともに、環境保全活動、環境教育の取り組みの一環として、6月4日（木）北上川右岸の水辺プラザ船着場で、登米幼稚園児合計19人の園児がヤマメの稚魚を放流しました。

園児たちは、「大きくなって帰ってきてね」と声を掛けながら、優しく稚魚を放流しました。



ライフジャケットを着用して準備万端！  
気をつけて放流しようね。



水道事業所の所長さんと、元気いっぱい  
にごあいさつ。



「お魚さんはどうやって放すのかな？」  
放流の仕方をお姉さんから聞きました。



稚魚の放流開始です。落とさないように  
バケツをしっかり持って放流しようね。



「お魚さん元気でね」と声を掛けながら、  
そっと稚魚を放流しました。



放流が終わって記念品が渡されました。  
気を付けて帰ってね

## ◆「北上川クリーン作戦」◆

登米市の水道の主な水源となっている北上川。その堤防を美化し安全を守るため、取水口周辺の堤防をきれいにする「北上川クリーン作戦」が6月3日（水）に実施されました。

当日は天候にも恵まれ、関係者をはじめ登米市管工事業協同組合の皆さんやとよま北上川かっぱの会、ボランティアなど約60名が参加し、午後3時から4時までの約1時間、堤防上を清掃作業に汗を流しました。

作業では、大きなゴミ袋を手に堤防や河川内に落ちているビニール類やペットボトル、空き缶、空き瓶などを拾いました。終了後には流木などを含めたくさんのゴミが回収されました。

ご協力いただいた皆さん、大変ありがとうございました。



今年度も管工事業組合の大勢の皆さんがクリーン作戦に参加しました。



集められた総重量約160kgにもなったゴミ。



河川敷に流れ着いた大きな竹。かっぱの会の協力の下、舟で引き上げました。



皆さんのご協力によって河川敷がきれいになりました。ごくろうさまでした。